

報告書

平成30年度広尾町受託研究

研究題目：シーサイドパーク地区における森林環境の現況

研究期間： H30. 4. 1 ~ H31. 3.31

1) 林床植物の生育状況に関わる調査

例年同様、オオバナノエンレイソウの開花前（4月16、17日）、開花期（5月13日～15日）、結実期（7月12、13日）、降雪前（10月22、23日）に調査を行った。オオバナノエンレイソウに関しては、群落が安定的に維持されていることを確認した（図1左上）。また、オオバナノエンレイソウ以外の林床植物群（ニリンソウ、カタクリ、オオサクラソウ（図1右上）、シラネアオイ、スズラン、バイケイソウなど）の生育状況も順調であった。特に、シラネアオイの生育は近年旺盛になってきており、今後も低地林でシラネアオイが見られる貴重な生育地と考えられる（図1左下）。この他にも、スズラン（図1右下）の地上茎の顕著な増加が認められた。



図1：シーサイドパークに見られる春の林床植物群（5月）

2) 保全事業および環境教育に関わる調査

例年通り、開花期と結実期には、教育委員会管理課学校教育係と連携し、広尾中学校の生徒（1年生）に対して、講話と野外観察会、そして種子の播種を実施した。



図2：広尾中1年生との春の野外観察会（左）、播種個体（2年前の）の移植（右）

昨年度報告したが、シーサイドパーク南側の車乗り入れ禁止したエリア（海側）に関しては、一時期オオバナノエンレイソウ群落の回復傾向にあった。しかし、近年、群落内にササの旺盛な生育がみられることから、オオバナノエンレイソウの結実後（7月）に刈り取りを実施した（図3）。その結果、ササ刈り直後には一定の減少は認められたが、10月にはすでに復活が見られた。ササは地下茎での繁殖を行うことから、ササ刈りの効果に関してはモニタリングを行うとともに、次年度以降も継続的なササ刈り実施の必要性も考えられる。



図3 ササ刈り実施区の様子（左：ササ刈り直後、右：同年の秋）